

食と農林漁業の再生実現会議
有識者委員 小林栄三氏提出資料

2011 年 7 月 12 日

「我が国の食と農林漁業の再生のための中間提言の骨子」に係る意見

小林 栄三

2点申し上げます。

まず、被災地における農林漁業の復旧・復興は、待ったなしですが、単なる原状復帰ではなく、将来を見据えた、魅力的で競争力のある形に生まれ変わるように取り組むべきと考えます。

即ち、この会議で過去議論してきたように、日本全体の農林漁業の再生を実現していくという意志の下、被災地の復旧・復興を、例外的な措置という形で矮小化することなく、むしろ、これからのオールジャパンのモデルケースとして位置づけ、しっかりとした将来に向けた施策として実行していくべきです。

次に、前述の具現化においては、強い財政が必須であり、その為には強い経済が必要であることは明白です。これに対しては、様々な政策を複合的に打っていく必要がありますが、その重要施策の一つがTPPに代表される、高いレベルの経済連携への参加であります。

本件については、色々な議論、考え方が各界にあると承知しておりますが、わが国が持続的な成長を達成するための必須条件と判断しますので、これを実現するために、TPPに関して収集された情報を、国民に対し迅速かつ正確に開示すると同時に、TPPと農林漁業の再生を両立させ、農林漁業のセーフティネットを確保する政策などを、具体的かつ早急に提示する必要があると考えます。

以上